

2022年オホーツクガストロノミー推進協議会「小清水ガストロノミー」 開催報告

■目的

地域文化の継承や「食」に関する学習の場の創出が期待されてきた“ガストロノミー”を、小清水町を舞台に実施した。本年度はオホーツク地域の主要農産物である“麦”に着目し、麦のある農業・農村空間の魅力地域内外へ発信した。

■開催日時：2022年7月16日（土）12:00～19:45

■実施内容（※参加者は、コロナ抗原検査の実施）

1. ランチ付き畑ツアー
2. ガストロノミーディナー

1. ランチ付き畑ツアー（12:00～16:15 気温：19.0～20.9℃、天気：晴）

●目的

ディナー前に、小清水町の「麦を始めとした畑のある風景」、観光スポットを訪れることで、小清水の農業の理解を深めるとともに、小清水町の魅力を体感していただくことを目的とした。

●対象者：ディナー参加者、協議会関係者など

●参加者：27名

●内容

【ツアー行程】

- 12:00 愛ホール集合
- 12:10～12:50 ランチタイム
- (12:30～12:45) 小清水町の観光PR動画上映
(小清水町観光協会の説明付)
- (12:45～12:50) ツアー出発前に、行程と畑での注意点を事前説明
- 12:50～13:40 畑をめぐるバスツアーに出発
- 13:40～14:10 ほがじゃ工場見学
- 14:10～14:25 小清水原生花園移動
- 14:25～15:00 視聴覚室にて野鳥観察ガイダンス
- 15:00～15:45 小清水原生花園散策 ※野鳥観察と花鑑賞を順番に観察

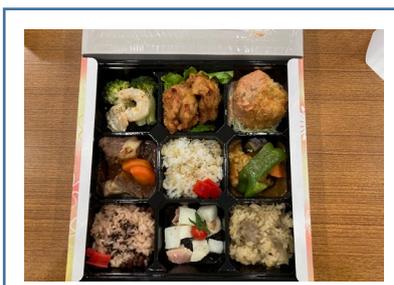
※野鳥観察は、小清水町観光協会、花はフラワーガイドによる案内

- 15:45～16:15 ビール麦が見える経路で移動
- 16:15 アグリハートセンター着（愛ホール経由）

●ツアーガイド 全体：小清水町観光協会（東京農業大学学生2名手伝い）

畑：生産者（鎌田健雄氏）

●ランチ内容：依頼先 小清水町「キッチン ままべん」



2. ガストロノミーディナー（16:15～19:45 気温 19.0～17.0℃、天気：晴のち曇り）

●目的

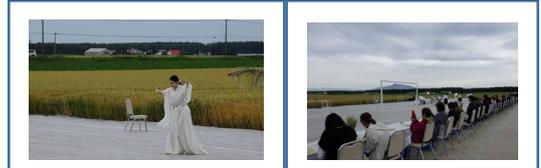
小清水の農業・農村の魅力を食と空間演出を通じて発信した。なお、この度のガストロノミーは「麦」をテーマとして表現した。具体的には、小清水の農業を歴史的視点から表現し、これからの小清水の農業のあるべき姿や大切にしていけるべきモノやコトについてそれぞれが主体的に考えることのできるディナーを提供した。

なお、「畑」の価値や重要性を地域内外に発信すべく、圃場の役割や各々が「圃場」に入ることがどのようなリスクを招くのか、といった点もきちんと意識できるよう、学習教材としての役割も意識して情報発信することを心がけた。

●招聘者：33名

■小清水町（5名）

- ・小清水町長
- ・JA こしみず代表理事組合長
- ・小清水町観光協会 副会長／事務局長
- ・小清水町地域おこし協力隊



■ガストロノミー推進協議会（14名）

- ・オホーツク総合振興局 局長
- ・津別町 産業化課
- ・網走農業改良普及センター 所長／清里支所 支所長
- ・北海道農政事務所北見地域拠点 参事官
- ・北海道開発局 網走開発建設部 部長
- ・オホーツク観光連盟 会長
- ・北海道新聞 他1社
- ・南九州大学 健康栄養学部 学部長
- ・東京農業大学 学長／副学長

■小清水農家（14名）

●実施場所：小清水止別地区 和田哲也さんの圃場前（土場+町道）

●ディナー内容 ※コロナ禍のためアルコール類の提供はなし

小清水の「麦」と文化をイメージしたコース料理

●圃場における病害虫まん延防止対策 ・本イベントは「土場」と「町道」にて実施。

網走農業改良普及センターによる指導と JA こしみずからの留意点を踏まえ、まん延防止策を徹底した

- (1) 利用する土場及び町道には不織布等のシートを敷く。
- (2) 作業スタッフ及び招聘者にはブーツカバーを着用。

●地域生産者へのイベントに対する理解の推進

JA こしみずにご協力を賜り、止別地区の生産者、青年部や女性部に対し、直接イベントの概要説明と出席のご依頼を差し上げた。

●スケジュール

- 16:15 アグリハートセンター集合
- 16:30～16:45 バスにてディナー会場に移動
- 16:45～19:30 小清水ガストロノミー



※当日、ディナー途中で雨が降る可能性があったため、イベントの終了時間を早めた

- 19:30～19:45 バスにてアグリハートセンターに移動

- 19:45 アグリハートセンターにて解散

以上